



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社 上場取引所 東
コード番号 8158 URL <https://www.sodanikka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 目崎 龍二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理本部長 (氏名) 岩渕 修 (TEL) 03-3245-1803
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,021	1.6	426	△27.0	610	△18.7	362	△62.5
2025年3月期第1四半期	15,766	1.3	584	8.4	751	3.9	968	90.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 562百万円(△37.9%) 2025年3月期第1四半期 905百万円(△32.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 15.93	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	42.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	72,221	29,570	40.9
2025年3月期	73,200	29,535	40.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 29,570百万円 2025年3月期 29,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	23.00	40.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,800	3.3	1,080	△4.8	1,250	△4.5	1,090	△17.7	47.87
通期	70,500	8.2	2,340	10.9	2,670	7.8	2,300	4.8	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	22,968,000株	2025年3月期	22,968,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	197,940株	2025年3月期	197,880株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	22,770,069株	2025年3月期1Q	22,718,372株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善等を背景とする個人消費の持ち直しや、インバウンド需要等による非製造業の良好な景況感がみられ、緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の関税政策による影響の不透明感や、長期化する国内物価上昇等、依然として景気の下押しリスクに注意を要する状況が続きました。

当社グループに関係の深い化学産業を中心とする国内製造業につきましても、米国の関税政策に対する警戒感等により、生産用機械や輸送機械工業といった機械関連業種を中心に、生産活動が弱い動きとなりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては中期経営計画「Go forward STAGE3」の3年目にあたる事業年度として、既存投資設備の稼働率向上や物流機能強化に向けた施策等、企業価値向上に向け、外部環境変化に即した取組みを推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 16,021百万円（前年同期比 1.6%増）、営業利益 426百万円（同 27.0%減）、経常利益 610百万円（同 18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 362百万円（同 62.5%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。また、各セグメントに属する商品群及び主な構成要素を以下表に記載いたします。

表：各セグメントに属する商品群及び主な構成要素

セグメント	商品群等	主な構成要素
化学品事業	ソーダ関連薬品	か性ソーダ、塩酸等のソーダ工業に関する薬品
	その他の無機薬品	硫酸、アンモニア等のソーダ関連薬品以外の各種無機薬品
	有機薬品	溶剤、界面活性剤等の各種有機薬品
	その他	キレート剤、グラウト材料等、上記に属さない化学薬品
機能材事業	包装関連商品	フィルム、容器、包装関連機器等の包装に関連する各種商品
	合成樹脂関連商品	樹脂原料、添加剤、成型品等の合成樹脂に関する各種商品
	設備・工事・産業材料	汎用機械、生産用機械等の各種設備、付帯工事及びエレクトロニクス、建築向け等の産業材料
	その他	雑貨品等、上記に属さない工業用資材等
その他事業	連結子会社8社	ソーダニッカビジネスサポート㈱、曹達日化商貿（上海）有限公司、PT. SODA NIKKA INDONESIA、㈱日本包装、SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD.、モリス㈱、㈱日進、㈱野津商店
	賃貸収入	保有動産・不動産等の賃貸による収入

【化学品事業】

売上高は前年同期に比べ1.7%増の10,627百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ2.2%減の847百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

ソーダ関連薬品は前年同期並みに推移いたしました。主力のか性ソーダは、エレクトロニクス業界向けは取引増加となった一方で、化学業界向けは取引減少となりました。ケイ酸ソーダ類は需要増加により取引増加となりました。炭酸ソーダは日用品業界向けの販売数量減少により取引減少となりました。

その他の無機薬品は好調に推移いたしました。アルミニウム化合物は自治体向け水質処理剤の新規受注等により取引増加となりました。また鉄化合物は化粧品業界向けの受注回復等により取引増加となりました。

有機薬品は好調に推移いたしました。製紙用塗工剤が特需の発生やシェア拡大等により取引増加となりました。

その他の商品群では、トイレタリー関連商品が日用品やペット用品向けの受注好調により取引増加となりました。

【機能材事業】

売上高は前年同期に比べ7.3%増の3,513百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ4.7%減の192百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

包装関連商品は好調に推移いたしました。包装関連機器が海外向け案件の新規受注により取引増加となりました。一方、ナイロンフィルムは中国向け需要の減少により取引減少となりました。

合成樹脂関連商品は低調に推移いたしました。ガラス短繊維は輸送機器用途での案件減少に伴い取引減少となりました。タンク類は販売数量減少により取引減少となりました。

設備・工事・産業材料は低調に推移いたしました。排ガス処理装置は取引増加となりましたが、回転機器は取引減少となりました。

【その他事業】

売上高は前年同期に比べ8.0%減の1,880百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ65.9%減の26百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした取引推移等は以下のとおりであります。

国内連結子会社は、株式会社野津商店で倉庫修繕に伴う費用が発生したことにより、また株式会社日本包装において新本社工場の稼働開始に伴う諸経費増加等により、減益となりました。

海外連結子会社は、インドネシアにおけるフィルム関連商材の受注減少等により、減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ978百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が701百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が381百万円それぞれ減少しました。負債の部では、支払手形及び買掛金が529百万円、未払法人税等が621百万円それぞれ減少しました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が241百万円増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日付公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,231	6,530
受取手形、売掛金及び契約資産	41,608	41,227
商品及び製品	1,442	1,364
その他	1,011	985
貸倒引当金	△45	△112
流動資産合計	51,247	49,995
固定資産		
有形固定資産	7,135	7,014
無形固定資産	263	281
投資その他の資産		
投資有価証券	13,794	14,154
破産更生債権等	19	9
その他	750	776
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	14,553	14,930
固定資産合計	21,952	22,226
資産合計	73,200	72,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,351	32,822
短期借入金	3,165	3,163
未払法人税等	773	151
契約負債	677	822
引当金	599	347
その他	824	879
流動負債合計	39,390	38,186
固定負債		
繰延税金負債	2,169	2,366
退職給付に係る負債	1,057	1,054
その他	1,047	1,044
固定負債合計	4,274	4,464
負債合計	43,664	42,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	16,203	16,038
自己株式	△202	△202
株主資本合計	22,880	22,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,211	6,453
繰延ヘッジ損益	△1	△0
土地再評価差額金	195	195
為替換算調整勘定	181	141
退職給付に係る調整累計額	67	65
その他の包括利益累計額合計	6,655	6,855
純資産合計	29,535	29,570
負債純資産合計	73,200	72,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,766	16,021
売上原価	13,579	13,737
売上総利益	2,186	2,283
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	286	325
給料及び手当	530	516
賞与引当金繰入額	154	182
役員賞与引当金繰入額	9	7
退職給付費用	22	19
その他	599	805
販売費及び一般管理費合計	1,602	1,856
営業利益	584	426
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	186	203
その他	11	11
営業外収益合計	199	216
営業外費用		
支払利息	10	11
シンジケートローン手数料	4	4
その他	17	15
営業外費用合計	32	31
経常利益	751	610
特別利益		
投資有価証券売却益	650	—
特別利益合計	650	—
税金等調整前四半期純利益	1,401	610
法人税、住民税及び事業税	368	159
法人税等調整額	64	89
法人税等合計	433	248
四半期純利益	968	362
親会社株主に帰属する四半期純利益	968	362

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	968	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	241
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	40	△41
退職給付に係る調整額	△0	△2
その他の包括利益合計	△62	199
四半期包括利益	905	562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905	562

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,446	3,275	2,043	15,766	—	15,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	313	328	670	△670	—
計	10,475	3,589	2,372	16,436	△670	15,766
セグメント利益	865	202	76	1,145	△561	584

- (注) 1. セグメント利益の調整額△561百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,627	3,513	1,880	16,021	—	16,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	232	339	597	△597	—
計	10,653	3,745	2,220	16,618	△597	16,021
セグメント利益	847	192	26	1,066	△639	426

- (注) 1. セグメント利益の調整額△639百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の
とおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	56百万円	97百万円